

第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
 講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
 講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
 講師/篤沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
 講師/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
 講師/虎羽里(トラバリ)セララさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参加して 平成19年4月23日
 講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
 講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
 講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
 講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ビオトープ」/長野市をビオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
 講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単・おいしいオシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
 講師/浜 このみさん クッキングコーディネーター

第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
 講師/角本 浩二さん パランスアドバイザー 長野県健康管理士协会会长

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
 講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
 講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野ハルセairoー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
 講師/バトゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
 講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の音にあり 平成21年2月18日
 講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践***宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みる*** 平成21年6月3日
 講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
 講師/小出 陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表 /信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
 講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
 講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ 代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
 講師/薩川了洋さん AC長野ハルセairo新監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぽ〜 平成22年5月25日
 講師/石次 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつきたオリンピック出場 平成22年7月28日
 講師/新谷 志保美さんバンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン〜夢と感動と勇気を〜 平成22年9月15日
 講師/越 和宏さん スケルトン 競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属

第26回 Go to J〜Jを長野に〜いよいよ地域決勝大会!〜 平成22年10月25日
 講師/鈴木 政一さん 長野ハルセairo・アスレチッククラブ強化部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
 講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
 講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
 講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日
 講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
 講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
 講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
 講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
 講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
 講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてが一丸となって「ながのの宝もの」をJへ 平成24年4月24日
 講師/薩川了洋さん AC長野ハルセairo監督

第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
 講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員

第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
 講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
 講師/根田 達男さん NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
 講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生 平成25年2月28日
 講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家

第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
 講師/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
 講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日
 講師/栗田 貞多勇さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
 講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日
 講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野ハルセairoー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
 講師/美濃部 直彦さん AC長野ハルセairo監督

第48回 わたしにとつてのボランティア 平成26年4月16日
 講師/丸田 勲さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
 講師/浅野 邦子さん 株式会社 第一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日
 講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日
 講師/本田 美登里さん AC長野ハルセairo・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日
 講師/小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気をつくる成長企業は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～ 平成27年7月1日
 講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日
 講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通して発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
 講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議!長野の神社の霊感の世界 平成27年11月17日
 講師/齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日
 講師/屋敷 隆太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日
 講師/平山 優さん 歴史研究者

第59回 寺町商家の運営で気づいた“食、の力” 平成28年8月30日
 講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー

第60回 地域から社会を変えよう!行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日
 講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

第61回 長野ハルセairoー今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日
 講師/浅野 哲也さん AC長野ハルセairo監督

第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に! 平成29年5月30日
 講師/中島 恵理さん 長野県副知事

第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋/日本一美味しい「飯山のお米」 平成29年7月19日
 講師/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー

第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～ 平成29年8月23日
 講師/平尾 勇さん 長野県観光機構工セクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)

第65回 長野県を元気に! メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント! 平成29年9月21日
 講師/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルブ長野ファースト 代表・講師

第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日
 講師/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長

第67回 話すって難しい!? 平成30年4月23日
 講師/坂橋 克明さん フリーバー・ソナリティー

第68回 中世善光寺知来堂東向き 平成30年7月5日
 講師/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高等客員教授

第69回 これからの長野における大学教育 ～人生100年時代の生き方と学び方～ 平成30年8月23日
 講師/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長

第70回 広域景観から見た善光寺～山岳信仰と他界意識～ 平成30年9月26日
 講師/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長

第71回 劇場が街を変える 平成30年11月30日
 講師/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人

第72回 早春のマンデー・ジャズ・ナイト 平成31年3月11日
 出演/AO VIVO(アオ・ヴィヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中野 寿寛

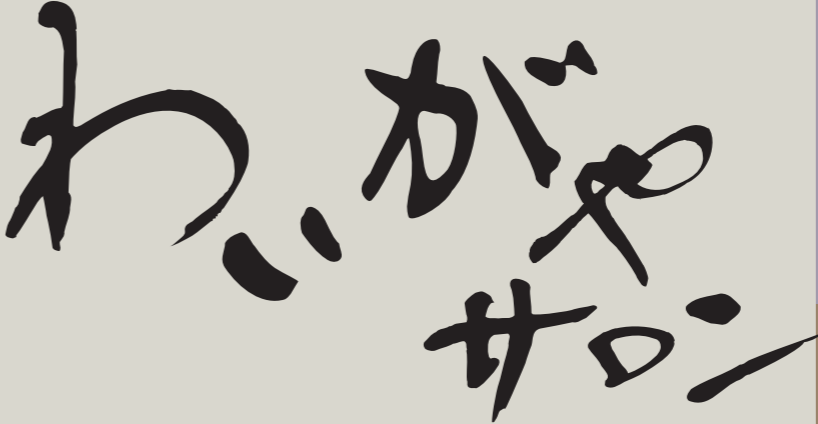
第73回 100年前に信州がめざしたもの ～県歌「信濃の国」に垣間見る～ 平成31年4月25日
 講師/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員



NUPRI
 Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人
長野都市経営研究所

〒380-0834
 長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
 TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
 www.nupri.or.jp
 e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. **74**
 2019.7



NUPRI
 Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

第74回 人生に無駄なし!

講師／松本 克幸さん 協栄電気興業(株) 取締役副会長

■座長:岩野 彰 場所/NUPRI事務所

7月18日(木) 18:00~20:00



まつもと かつゆき 1946年、東京生まれ。熊本工業高校卒業後、東京にて就職。67年、従兄(現・会長)と埼玉県川口市にて起業後、長野市に拠点を移し、総合設備業等グループ会社17社を経営するに至る。長野県中小企業家同友会代表理事ほか

連れて親が待つ熊本へ。覚悟がいったと思いますが母一人で祖父母・戦争で親を失った従兄・私を養ってくれました。その無理がたたりカリエスに倒れ入院。私は父の親戚の京都へ、兄貴(従兄)は母方の親戚の大島へ。当時カリエスは不治の病でしたが数年後、新薬ペニシリンによって母は劇的に回復に向かい、子ども二人も熊本に戻れたのです。

愛される/ほめられる/役に立つ/必要とされる=人の幸せは四つ

京都のおじおば義姉たちも熊本の祖父母も母もあふれんばかりの愛情で育ててくれました。戸の開け閉めに始まり^{しつけ}躾は厳しく、井戸の水汲みなど子どもが家族の役に立てる仕事をちゃんとやったら◎、あるいは○△(×はそもそもなかった)と点数表に印され小遣いが決まる仕組みでした。

高2のとき、母に再婚していいかと訊かれて、いいと答えた。再婚しないと子どもを束縛すると母なりに考えたのかもしれませんが。母の再婚後、私は煙草を吸ったりバイクを乗りまわし捕まったり…しかしそれ以上にグレきれなかったのは、「息子に限って他人様に迷惑かけることはしないはず」と私を信じ切ってくれている母の言葉を聞いたから。

いつも感謝/人のお役に立つ/謙虚で素直であれ/自由と責任はくっついている…そうした母の教えはずっと私の糧となっていて、現在の会社の経営理念にもつながっています。

長野でのご縁

私も兄貴も熊本工業高校電気科卒です。兄貴はトップクラスの成績でしたので一流企業に就職するも半年後、高校出では先が知れていると辞めて大学をめざした。私は東京の会社に就職。ある時、先輩から「ずっとサラリーマンでいるより会社をやらないか」と持ち掛けられ…20歳そこそこの2人(兄貴と私)が立ち上げたのは運送会社(埼玉県川口市)。ポンコツトラック1台で地方へさまざまな物を運ぶうちに、長野県全域の有線電話をダイヤル式に替える仕事に携われ、私だけ長野に常駐。その仕事が忙しくなり、会社本体を長野に移したのです。社長(兄貴)との役割分担も最初からハッキリしていて、社内のことは社長、社外の事は営業も含め私と決まっていた。

そんなこんなするうちに少しずつ人脈も増え、私は長野青年会議所への入会を勧められ、12年間お世話になりました。会議所を通じての人脈も広がり、選挙の手伝いもしたりと、人生の節目節目で、大事な方々に引き立ててもらい、今もって続くご縁に感謝しています。

令和初のわいがやサロンは未だ梅雨空の7月の宵に開幕。講師はNUPRI会員の松本克幸さん—— 一個の人間として経営者としての行動・信念に大きく影響を与えられたものがあるとのこと。

誰のものでもない自分の人生を生きる

12月で73歳、長野に50年近く過ごしてきたのですから十分信州人と言ってもいいと思うのですが^{ひとさま}他人様から見れば熊本っぼさが抜けてないのだとか。それもまた自分の特長と肯定的に考えています。

誰の人生もドラマ、というわけで、私の生い立ちと、私を産んでくれた母のことから話を進めさせてください。母は旧満州(中国東北部)生まれ・育ち。女学校を出てすぐ関東軍司令部で手伝ううち職業軍人の親父と知り合いました。時代は日中戦争～第二次世界大戦～満州にロシア軍が侵攻。逃げなくてはならないが日本人と分かると大変な目に遭うため顔に泥を塗ってなど逃避行は壮絶なものだったようです。ひょんなことから日本に帰れ、東京葛飾で私が生まれました。父の事情で一緒におれず、母は私を

チャレンジ/人としてどうあるべきか

私の1日は朝3時半から始まります(睡眠時間は4時間半)。毎日習慣にしていることをやるためにはその時間に起きないと間に合わないんです。やりたいことの1つはマラソン。サッカーで半月板を傷めたのがきっかけでリハビリと健康のためにストレッチとウォーキングを、61歳からはジョギングを始め、今では長野マラソンに出場するまでの趣味になりました。毎日コツコツ、継続は力なり! 限界を遠くにもっていきは走ることに限らず、仕事においても何事にもチャレンジ精神をもちたいですね。

走るきっかけになった長野少年サッカースクールのお手伝いを40年近くしています。スクールが半世紀も続いているのはサッカーの技術だけでなく他にも大事なものがあ、意気を感じ何が人として大切かを感じてくれる子どもを育てたいという理念が今も支持されているからだと思います。戦後、子どもたちの教育が変化し、時代の影響を受けていると危惧しています。新しいことに対し、やりもしないですぐ「無理ムリ」と言って挑戦しない。すぐ他人のせいにする。「最初から出来る人なんていない」「俺だって何でも初めは辛かったし出来なかった。でも自分がやると決めたから毎日チャレンジしているんだよ」と伝えるんですが、その子の親が人としてどうあるべきかをちゃんと教育しなければ身につかないわけですよ。昔は地域に「俺が説教してやる」みたいなうるさ型のおじさんがいたもんですが。

地方の中小企業の役割

日本はモノが溢れ豊かになりましたが、その分、人として大事なことが置き去りにされ、地域や家庭が教える場でなくなってしまったように思います。どこでその教育をするのか? 地方のほとんどの人は会社で仕事する。ならば働き先である会社=中小企業がやるしかない。都会の大企業は利益が最優先でしょうが、地方の中小企業は人のお役に立てることが先。勿論、利益を上げなくては会社は継続できません。でも人として責任ある仕事をすれば先様に喜んでもらえ、結果、利益として還ってくる。^会社とは幸せをつくる場所、仕事とは幸せを掴む場所、というのが私と兄貴の共通認識であり、自社経営において、またM&Aを依頼された場合でも自分の損得でなく社会や業界がよくなることをめざしています。私個人は長野県中小企業家同友会代表理事、同全国組織では幹事を務めさせてもらい、^人としてあるべき姿、について語り合える場や社員共育から家庭共育へと連携がとれる流れをつくりたいと社会体験学習を引き受けたり、先生や生徒さんに分かってもらいたいと講演活動もさせてもらっています。

人生は自分で選ぶ権利がある。

母は93歳、いつも20年先のお手本がいてくれることを有り難いと思っています。私のつたない話から^人生は自分で決める権利がある。^どんなことも、人生に無駄なし。と感じてもらえれば幸いです。キャッチボールはボールが自分のところであって初めて始められる。人生のボールは自分のところにあるんです。社会が悪い、先生が、親父が、母親が悪い、とか他人のせいにしてる限り何一つ進みません。決めたのは最終的には自分=ボールは自分のところにある。そここのところがなかなか分かってもらえませんが、他人からどんなアドバイスを受けようがやるのは自分、なんです。どういう立場にあっても、まずは自分ができることをコツコツと一つずつでもいいからやっていくこと——その覚悟をもち、継続することが大事なんだと思います。

わいがやタイムでは「^人は(良い影響か悪い影響かに関わらず)生まれた時から必ず人に影響を与える。と言われた時、思わず背筋を正した」「一言ひとことが胸に響いた」ほか交わされました。

※7月は中小企業魅力発信月間でした。本年より毎年7月20日(S38、中小企業基本法が施行された日)を「中小企業の日」として、官民が中小企業の存在価値や魅力を広く伝えていくことになりました。



中小企業家同友会全国協議会の活動



力を注いできた長野少年サッカースクール(長野青年会議所が1969年に創立)。技術よりも大切なものがあることを伝えている



マラソン大会にて。応援に来てくれたお孫さんとツーショット

